

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

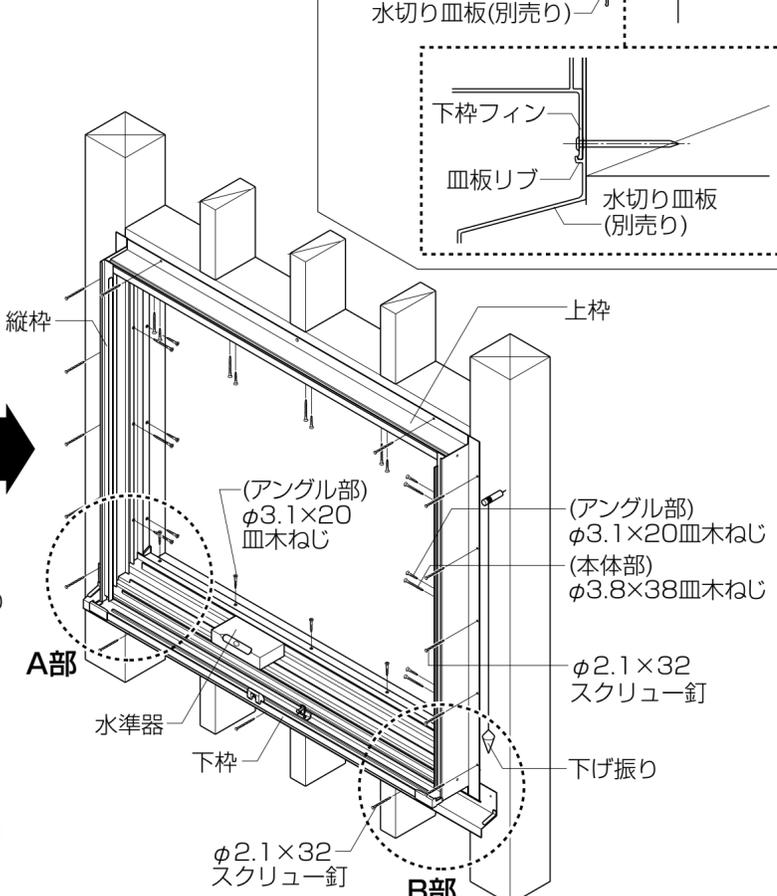
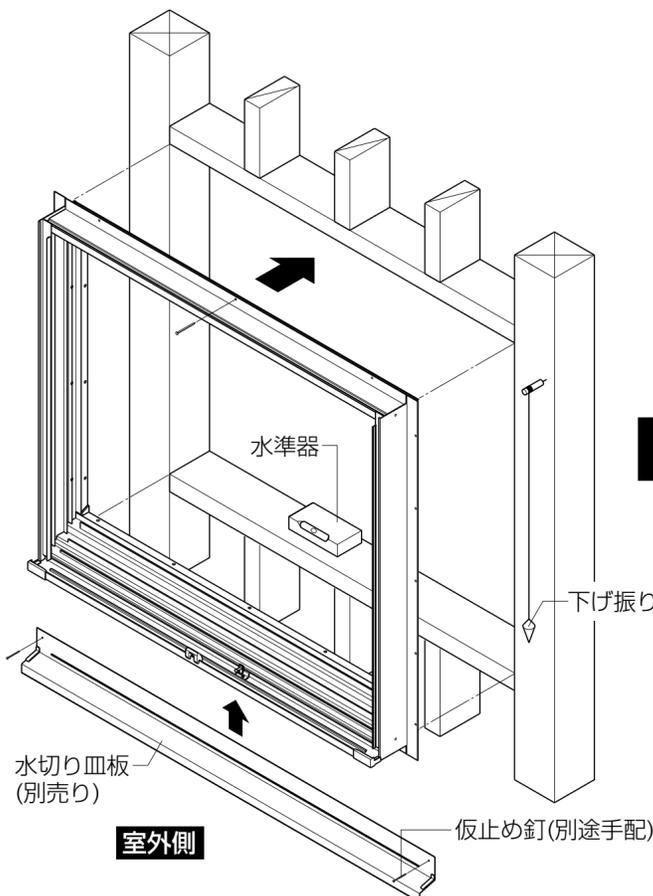
- シャッター本体の脱落や、変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
  - ・サッシ枠・ブラケットは、必ず外壁仕上げ前に直接構造体に取り付けてください。
  - ・開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
  - ・必ず指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建て込んでください。
  - ・ブラケット取付け面が平らであることを確認してください。
- 雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(右図参照)

### ■施工上のお願い

- 本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシ枠の組立て・取付けはシャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
- 水切り皿板は別途手配してください。
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下の反りがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事等をやり直すことになるおそれがあります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- シャッター部分の組立て・取付けについては、本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

### ■取付け順序

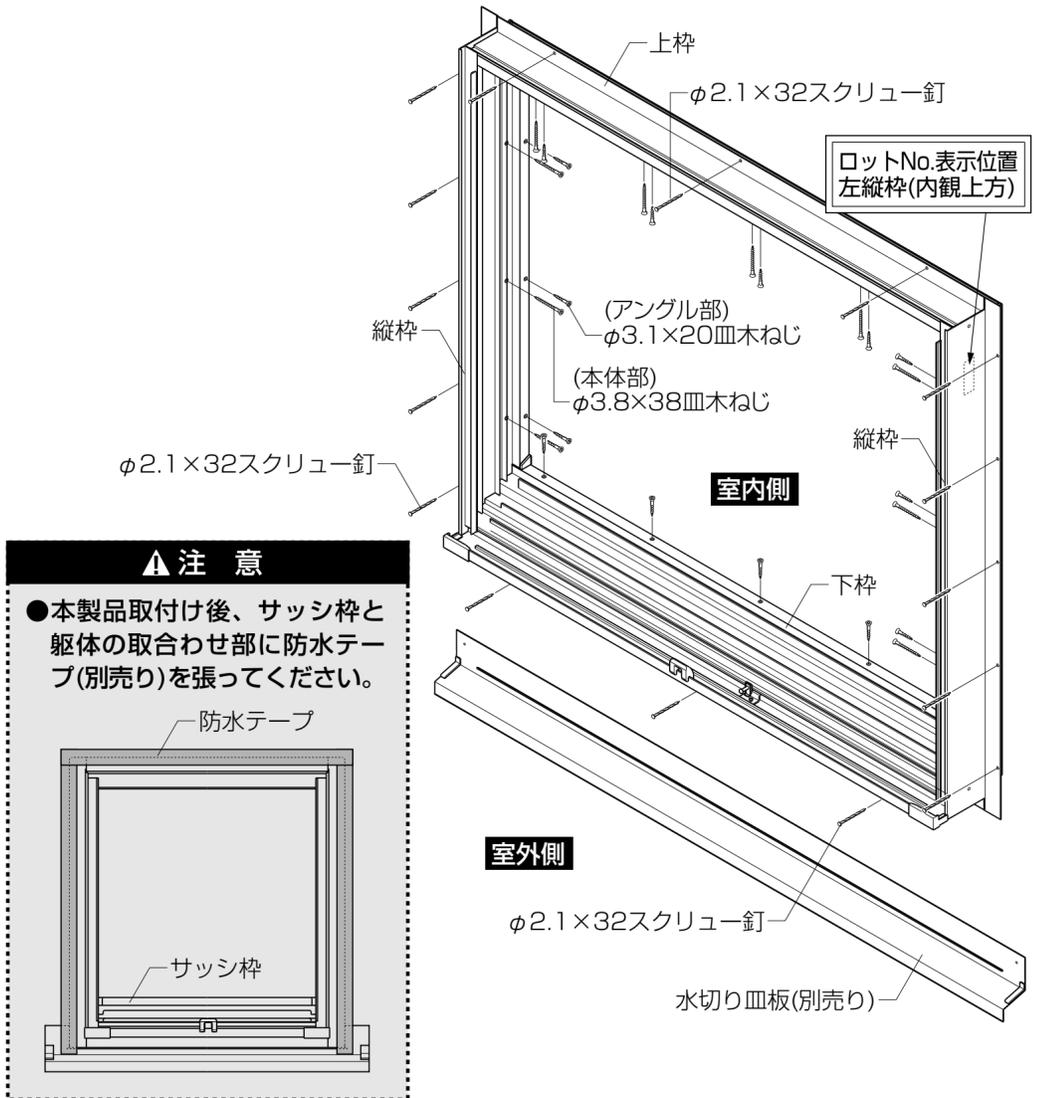
- ①サッシ枠の取付け位置を決めます。
- ②上枠を仮止めし、水平・垂直を出します。
- ③上枠と縦枠を固定します。  
※水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認し、縦枠にたおれのある場合は、かいもの等で調整してください。
- ④水切り皿板を下枠の下から差し込みます。
- ⑤左右を均等にし、右記「■水切り皿板取付け詳細図」の位置まで押し込んで仮止めします。
- ⑥下枠と一緒に固定します。  
※水準器等で水平を確認し、上下に反りのある場合は、かいもの等で調整してください。シャッターの作動不良の原因となります。



### ■取付けねじ一覧表

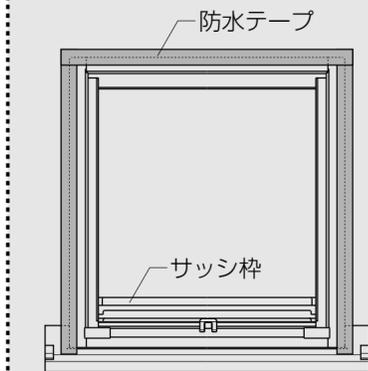
φ3.1×20皿木ねじ	φ3.8×38皿木ねじ	φ2.1×32スクリーナ釘
		

### ■構成図

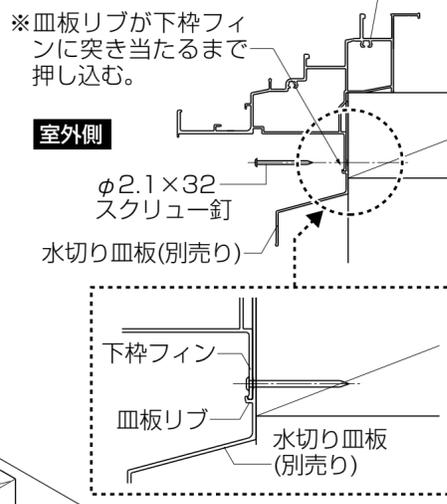


### ▲注意

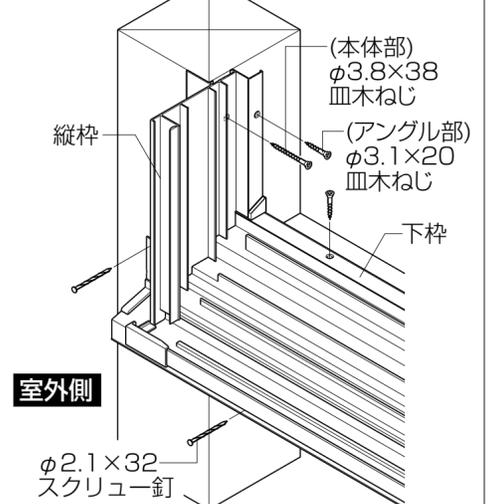
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



### ■水切り皿板取付け詳細図



### ●A部詳細図



※上枠・縦枠の皿木ねじは、本体にはφ3.8×38、アングル部にはφ3.1×20を使用してください。

### ●B部詳細図

